

平成17年
(2005)



喜界時報

3

発行/鹿児島県喜界町役場 編集/企画課 ☎891-6292 電話/0997-65-1111 印刷/南日本新聞開発センター

No. 453



雨と強風について

今月の紙面

2～3面	平成17年度施政方針	8～9面	会設置
4面	婦人会・区長会が「ゴミ問題」等懇談会	10～11面	喜高卒業生のメッセージ
5面	保健師だより/アリモドキ対策協力がカレンダー作成	12～13面	まちの話題
6面	ネリヤカナヤ創作童話コン入賞作品	14面	お知らせ/今月の花/国民年金だより
7面	空港利用促進協議会発足/学校等再編庁内委員	15面	教育委員会のとびら
		14面	わが家のアイドル/喜界歌壇/戸籍の窓ほか
		14面	俊寛ジョギングスナップ集

俊寛座像前が発着点



第21回
～俊寛ジョギング大会～

平成17年度施政方針

町民一体で難局乗り切ろう

～市町村行財政の大変革期に～

歳出の見直し

歳入の確保を徹底

第一回定例議会で所信を述べる加藤啓雄町長



革大綱および実施計画を着実に実施してまいります。

また、学校等再編問題につきましては、諮問委員会を設置し、町民一体となつてこの難局を乗り切る所存でございますので、ご協力をお願いいたします。

さて、最近の我が国経済の動向をみると、雇用情勢や個人消費はやや改善してきており、景気は持ち直しに向けた動きも見られます。しかし、地域や業種により差があり、都市部の大企業においては好調のようですが、地方においては依然として厳しい状況にあります。

は基礎的財政収支の黒字化を目指し、構造改革を一層推進するため改革断行予算という基本路線のもと、歳出を前年度水準以下に抑えてきています。また、経済活動は全体的に長期的停滞状態にあることから、税収の大幅な伸びは期待できず、依然として歳入の大部分を国債に依存するなど厳しい状況にあります。

市町村行財政にとりましては、これまでにない大変革期にあり、国は市町村合併や行財政改革等を強力に押し進めております。

この厳しい経済や財政状況の中で、本町が単独でやっていくためには、引き続き徹底した歳入の見直しと歳入の確保をしていかなければなりません。少子高齢化に伴う税収の落ち込みや、地方交付税の減額の中、医療保険、介護保険、介護福祉等社会保障経費は年々上昇しており、情勢は厳しさを増しております。

三位一体の改革は、税客体の少ない地方の小規模町村に

とりましては非常に厳しく、平成十七年度の予算編成においても前年度と同様多大な財源不足が生じ、歳入の徹底的な見直しを行ったところですが、それでも財源不足は解消できず、財政調整基金等の繰り入れを行ったところでございます。

先行き不透明な厳しい社会情勢ですが、喜界島の美風として、豊かな人情や助け合いの精神があります。この伝統を大切に守り、「心豊かで活力に満ちたうるおいのまち」づくりを進め、「自立した、夢の持てる町を」築くため誠心誠意取り組む所存でございます。

新庁舎建設

新庁舎建設につきまして、工区分けをして造成工事、庁舎本体新築工事、コミュニケーションセンター新築工事、公用車庫、機械室新築工事、屋内電気設備工事などを発注いたしました。本年度は残されたコミュニケーション公園や外構工事等を整備し、平成十八年四月から新庁舎にて各種業務が執行されるよう、鋭意取り組んでまいります所存であります。

要旨

昨年は、本町にとりまして大きな変革の年でありました。喜界島と奄美大島との市町村合併問題は、町民アンケートの結果や議会のご意見を伺い、合併でなく単独で自立していくことに決定いたしました。厳しい財政状況が続くと予想されますが、行財政改

計予算案は、平成二十二年に

サトウキビ(糖業)

糖業につきましては、今期、相次ぐ台風被害による影響で生和糖業株式会社処理量は約七万トと予想され、二年連続の年明け操業となりまして、また、ブリックスも近年にない低度数に見舞われ、キビ作農家にとりまして「目減り」を強いられた厳しい年となりそうです。サトウキビは本町の最も重要な基幹産物であり、生産量の増減が農家のみならず本町経済に及ぼす影響は計りしれないものがあり、年内操業に必要な七万五千トを確保すべく、関係機関一体となって取り組んでまい

ります。

その方策として、緑肥・有機物投入等による土作り、病害虫駆除・優良種苗・側枝苗対策による生産性・品質の向上、営農集団の育成や小型ハーベスタ、大型トラクター、管理作業機械の計画的導入による機械化一貫体系の確立を図ってまいります。

また、ハーベスタの増加に伴うトラッシュ対策が急務であり、良質原料茎確保のための精脱葉処理装置・デトラッシュヤーの導入を計画しており、ハーベスタ連絡協議会や委託農家双方の理解を得ながら新しい生産体系を構築して

まいります。さらに、夏植えの労力軽減および暑さ対策の面から、十月以降植え付けでも収量が確保でき、補植苗にも適している側枝苗の生産も計画しております。

サトウキビは、農家ならびに本町経済にとつてまさに「命綱」であり、地域一体となった安定的な生産体制を確立出来るよう努力してまいります。

肉用牛

肉用牛生産振興につき

ましては、近年の相場も全国的な素牛頭数の絶対的不足や米国産輸入肉の停止等から、肉牛の枝肉相場が高値で推移しており、本町において7年間を通して高値安定が続いている状況でございます。今後、計画的な交配や島外からの優良素牛の導入により発育血統の良い、粗飼料をしっかりと食した子牛づくりに努め、飼養農家の高齢化や後継者不足と新規農家の発掘等重要課題に対処しながら、畜産農家の基盤強化と産地間競争に生き残るための畜産振興に努めてまいります。

ゴマ

ゴマの振興につきましては、サトウキビ夏植えの前作として面積・生産量とも増加傾向にあり、東京の大手製油会社等が購入に名乗りを上げていますので、安心して増産に取り組みめる状況にあります。日本一の白ゴマ産地として、収穫および選別機械導入の補助や省力化を推進して生産拡大を図ってまいります。

園芸

園芸振興につきましては、営農支援センターの六千平方メートルのハウスおよび露地で、野菜・花卉・果樹の苗供給や実

証を行い、また同センターに設置している土壌分析機を活用した土壌診断で土づくりを推進してまいります。さらに次世代の喜界島農業を担う若い人材育成のために農業研修生制度も継続し、小・中・高校生への体験学習も積極的に受け入れて、営農指導施設としての使命・役割を担えるよう運営してまいります。

野菜

野菜につきましては、重点品目のトマト・メロン・カボチャを中心に振興を図り、かごしま園芸タウン条件整備事業でハウスを導入して、園芸農家の育成に努めます。

花卉

花卉につきましては、台風や季節風被害の防風対策が重要でありますので、その対策として、かごしま園芸タウン条件整備事業で平張施設を導入して品質の向上や生産面積の拡大を図ってまいります。

果樹

果樹につきましては、タンカン・マンゴーを中心に振興を図り、併せて在来ミカンの成分分析および調査委託を継続して行います。平成十五年十二月に感染樹

が見つかったカンキツグリーニング病は、これまでに九本確認されており、蔓延防止の啓発活動や防除対策を行い、また、かごしま園芸タウン条件整備事業でマンゴーハウスを導入して生産拡大を図ってまいります。

アリモドキ根絶事業

アリモドキゾウムシ根絶事業につきましては、不妊虫放飼による防除を上嘉鉄地区で継続しています。平成六年度からの地道な活動と地域住民の協力により、同地区での防除効果はかなりの成果を挙げられており、現在ではほぼ根絶状態となっております。

平成十九年度からは、不妊虫による防除地区を同地区以外まで拡大することが予定されており、現在事前調査が順調に行われています。

今年度は同地区以外での密度抑圧防除も開始される予定で、全島根絶に向けた取り組みが本格化してまいります。

郡内のアリモドキゾウムシ根絶の第一段階として本町で実施されている本事業に、本町も可能な限り協力と支援を行い、壮大な事業の成功に貢献したいと強く念じております。(以下号)



着々と進む新庁舎建設

協力し合って住みよい町に

婦人会(区長会)が「ゴミ問題」等で懇談会

生活に密着したゴミ問題を解決し、少しでも住みよい町にしようと、地域婦人会連絡協議会(吉本敏子会長)が二月十四日、区長会に呼び掛け、役場会議室で懇談会を開いた。婦人は「長年いろいろ問題に取り組んできたが、婦人会だけでは解決できない問題もある。意識を高め、実践していくためにはどうしたらいいか話し合い、互いに協力しましょう」と呼び掛け、集落の現状や改善方法について意見を交わした。

地域婦人会連絡協議会は長年、生活に密着するゴミ問題などに頭を悩ませている。

懇談会は集落代表の区長会と地域婦人会連絡協議が互いに協力し合い、地域に密着する問題に対処し、住みよいまちづくりに努めようと、地域婦人会連絡協議会が音頭をとって行われた。

ゴミ問題については、家庭からゴミステーションに出されるゴミの分別不徹底が指摘され、区長が持ち帰り分別している状況など報告された。

また、他集落からのゴミの持ち込みについては、反対する意見と分別してあれば構わないとする意見があった。他集落からのゴミの投げ入れを禁止している箇所では「他集落

のゴミステーションに投げ込む人に限って分別ができていない」と町民のマナーの低下を指摘する声が多かった。

以前、婦人会と語る会で要望のあった「ゴミ収集車の音楽」(広報きかい平成十六年十二月号)については「音楽を聞いてから走ってこられては危ない」などの理由から、業者は消極的。これについて懇談会では賛否が分かれた。

ゴミ減量や資源を大切にするための、買物袋持参によるポイント制度については、知らない区長もあり、「広報が足りないのではないかと。住民にいかにも認識させるかが課題」との意見が出た。

冠婚葬祭祝儀持参金と献立について町や区長会、婦人会で取り決めた「生活改善実施要項」(平成九年三月)については、「葬式の返礼はがき」や「火葬場でのアルコール自粛」の実効性を疑問視する声も上がったが、「各集落の判断にまかせるのではダメ。意

見は統一しないと」「強制はできないが、努力目標として定めたのだから今後も維持すべき」との意見があり、機会

あることに呼び掛け、啓発活動をしていくことを確認した。

「存じですか?」 買物袋持参ポイント制度

入し、使用毎に1回の押印。30ポイントでトイレットペーパー3個を贈呈。さらに毎月1回抽選で1000円分の商品券が当たる。

・ショッピングセンターふくり

買物袋を持参するたびに5円を値引き。月600件ほどの利用がある。

(詳しくはスーパーにお尋ねください)

実践事項を確認しよう

第12回生涯学習推進大会
第5分科会(潤いと活力のある町づくり部会) 実践事項

・町民一人ひとりにゴミ処理問題の浸透を図り、ゴミの分別を通して、ゴミ減量に努めよう。

・買物袋を持参する。



「ゴミを減らし、限りある資源を大切にしよう」「美しい自然と環境を守ろう」と、町内のスーパーでは買物袋を持参したお客に独自のポイント制度を取り入れている。

・Aコープ

スタンプカードを配布。買物袋持参1回につき、スタンプ印を押印。スタンプ25個で、100円のお買い物券として使用できる。

・スーパーSONO

250円のエコバッグを購

保健師だより

喜界町では、要介護認定を受けている方が高齢者人口の約17%（五百人余り）います。奄美群島の平均は22%、県19%、国16%で、喜界島は奄美の中では元来高齢者が多い島ということなのかもしれません。しかし、

介護認定者は徐々に増加、介護給付費（保険給付のサービス費用）も年々増加し、平成15年度では前年度より三千四百万円増の七億一千万円となっており、平成18年度の保険料見直しでは値上げが避けられない状況です。

現在、国では介護費用の増大対策として「介護予防」の必要性を掲げており、平成18年度の介護保険の制度改正で、要介護状態となるおそれのある人や介護度が軽度で改善が見込まれる人などを対象に「介護予防」のサービスが始まる予定です。

「介護予防」に努めよう

病気やケガ、生活の変化をきっかけに生活が不活発になり、心身の機能が低下し、介護が必要な状態に陥ることが多いと最近の研究では言われています。年だからとあきらめたり、病気の人でも必要以上の安静をとったり、頭も体も使わな

いでいるとますます動けなくなり。

日常生活の中でも、身の回りのことを自分で行ったり、近所へ出かけておしゃべりをしたり、ゲートボールをしたり、洗濯、買物や調理などの家事や野菜作りなど何気なく行っていることも頭や、体を使っていることになり。家庭や地域での役割や楽しみをもち続け、毎日、活発に過ごすことが介護予防につながります。

高齢者自身もできることは自分で少しずつでも続けること、家族や周囲も何でも代わりにやってみようではなく、本人のできることを見つけ、続けられるように見守り、励ますなどの心がけが大切です。

アリモドキをやっつけよう!!

アリモドキ対策協がカレンダー作成

喜界地区アリモドキゾウムシ防除対策協議会（会長 藤啓雄町長）ではこのほど、「喜界島のアリモドキをやっつけよう!!」と題した平成十七年度版アリモドキ根絶力



アリモドキ寄生植物の除去作業

カレンダーを千部作成、今年度から密度抑圧防除が始まる南部九集落（荒木、浦原、川嶺、羽里）の全戸に、その他の集落にも一部ずつ配布した。カレンダーは事業に関する基礎知識やイモ畑でアリモドキゾウムシを発生させないための方法など、協議会で出された案を具体化し掲載。住民みんなで取り組むための雰囲気づくりに役立つよう工夫した。

印刷は喜界町小規模作業所「ほつと館」に依頼。A4サイズ六枚で、紐を通し掲示しやすいようにした。内容は「サツマイモを作り続けるとアリモドキゾウムシの巣になります。野菜と輪作しましょう」「ほつと館」のイモ畑はアリモドキの巣になります。ツルを食用にする場合でも、いったんは全部掘り起こしま



しょう」など、分かりやすい文章で簡潔にまとめた。アリモドキゾウムシ防除対策事業は、新年度から本格的な密度抑圧防除を行う。上嘉鉄地区から湾頭原にかけて、雄をおびき寄せるフェロモンと殺虫剤を染みこませたテックス板を設置。不妊虫の数には限りがあるため、まずは野生の雄をできるだけ駆除し、二年後を目処に不妊虫を放飼する計画。トラップ面積は今年度の四五〇畝から、一六〇〇畝に拡大する。

上嘉鉄地区では現在、週に五十万匹の不妊虫を放飼。ほぼ全滅状態となっている。平成十八年度には名瀬市の不妊虫大量増殖施設が完成、不妊虫の数を三百万匹に増やすことができるといふ。アリモドキゾウムシはアサガオやゲンバヒルガオに寄生し、食害されたイモは強い苦みと悪臭を放つ。植物防疫法で特殊病害虫に指定され、奄美からのイモの持ち出しは禁止されている。現在、大島支庁農林課特殊病害虫係が中心となり、根絶事業に取り組んでいる。

第二回ネリヤカナヤ創作童話コンクール優秀賞作品

第二回ネリヤカナヤ創作童話コンクール（鹿児島県図書館協会奄美支部主催）の優秀賞入選作（本町分）から今回は、湾小学校三年・竹田海緒さんの「けんむん様とオオゴマダラ」を紹介します。

けんむん様とオオゴマダラ



湾小3年 海緒
竹田

喜界島には、昔から、大きく堂々としたガジュマルと美しいオオゴマダラがいます。

ガジュマルには、けんむん様というかみ様がいました。けんむん様は、おにのようなこわい顔をしています。本当は心やさしいかみ様です。

けんむん様は子どもにしか見えません。けんむん様と子どもたちは、とてもなかよしで木登りをしたり、おいかけてをしたり、草笛をふいたりしてあそんでいました。けれど、大人になると、いつの間にかみんなその事を忘れてしまいます。

一方、オオゴマダラは、羽も、とぶすがたも美しく、島

の人たちみんなにとても大切にされてきました。オオゴマダラたちは、自分たちがきれいなので、おにのようなすがたをしたけんむん様を少し「こわいなあ。」と黙っていました。

ある日大きな台風がやってきました。それは、大きな強い台風で家の屋根もふきとばすほどでした。木のかげにいたオオゴマダラたちはとてもこまりました。

「どうしよう。こまったなあ。」

「このままじゃ、ふきとばされちゃうよ。」

けんむん様はそれを聞いて、言いました。

「ここにおいで。ガジュマルの木の中に早くお入り。」

オオゴマダラたちはとばされそうになりながらも、ガジュマルにしがみつきました。やっとのことで中に入ると、中は広い部屋になってい

ました。よく見ると、木の根がびっしりからみあっています。雨も風も入りません。

「あっ、ここにあながある。まどみたい。外が見られるよ。」

「うわあ、おもしろそう。見せて見せて。」

「ひみつき地みたいだね。」

オオゴマダラたちは、大よろこびです。けんむん様は、「雨の日は、ここで子どもたちと遊ぶんだ。いい部屋だろ。ゆつくり休んでね。」

オオゴマダラたちは、けんむん様の事をこわいと思っていた事を反せしました。

やがて台風がすぎ、気もちの良い太陽の光がさしました。オオゴマダラたちは、

「ありがとうございます。ガジュマルさん。」

「ありがとうございます。みんなと、おれいを言つと、みんなとどび立って行きました。何年も月日が過ぎていきました。けんむん様と遊んでいた子どもたちも大人になりました。けんむん様のことをすっかり忘れてしまいました。それどころか、けんむん様のガジュマルの木を切りたおすと云うのです。



「この木、じゃまだなあ。」

「根元から切りたおしてしまえばいいんじゃないか。」

けんむん様は、「切りたおすだつて！どうしよう。」

と、こまりはてていました。数日後ついに切りたおされる日がやってきました。大人たちがやってきて切ろうとした時、けんむん様はさけびました。

「うわあ。いやだあ。だれかたすけてえ。」

けれども、大人たちには聞こえませんが、オオゴマダラたちには聞こえました。大いそぎで来てみると、今にも木が切りたおされそうです。

「けんむん様があぶない。」

「今こそおんがえしをする時だ。」

「みんなあ、集まれ！」

「いそいで、早く早く。」

オオゴマダラのような虫やせい虫が数えきれないほど集まってきました。

「みんなで力を合わせてけんむん様を助けよう。」

「おおっ！」

よう虫は、大人たちの足にうじゃうじゃと集まり、かみつきました。せい虫は、大群となり、顔にまとわりついたり、かみの毛をむしったりしました。

「いててて。」

「まっ・前が見えない。」

大人たちはびっくり。そしてガジュマルの木で遊んだ事、けんむん様という神様がいた事を思い出しました。

「おれたち悪い事をしたなあ。」

「この木はぼくたちの思い出だったんだ。」

「このままにしておこう。」

けんむん様は感しゃして、

「やったあ。」

「けんむん様をすくったぞ。」

オオゴマダラたちは喜びました。

けんむん様は感しゃして、

「やったあ。」

「けんむん様をすくったぞ。」

オオゴマダラたちは喜びました。

けんむん様は感しゃして、

「やったあ。」

この気もちを何とかして伝えたいと思いました。そして思いついたのです。けんむん様は太陽の神さまに一生けんめいお願いしました。

「ていだあ様、ていだあ様、オオゴマダラをもっときれいにしてください。」

すると、空から金色の粉がふつてきました。キラキラまいる金の粉は、オオゴマダラ

観光促進、新路線開拓等図る

喜界空港利用促進協が発足

喜界空港利用促進協議会がこのほど発足し、第一回総会が二月十八日、役場会議室で行われた。

同協議会は喜界空港の利用促進を図り、地域の発展と振

たちにふりそぎました。なんてきれいなすがたでしょう。オオゴマダラのサナギが金色になりました。

それから、オオゴマダラのサナギは金色にかがやいているのです。

島の人たちもガジュマルの木を大切にし、自然を守っていくようになったという事です。

港機能の充実促進、利用者のサービス向上等について話し合い、観光の促進、航空運賃軽減、新路線の開拓等に官民一体となって取り組む。

【会員】近藤時義(区長会)・都隆男(観光協会)・岩田忍(商工会)・吉本敏子(婦人会)・安岡歎真(漁協)・泰田哲真(奄美空港)・栄強志(タクシー業)・基井啓子(ホテル業)・喜禎光弘(運送業)・原田尚一(旅行業)【顧問】橋本忠正(県喜界事務所)



あらゆる角度から検証

学校等再編庁内委員会を設置

学校等再編庁内委員会が庁舎内に設置され、第一回合会が二月二十三日、役場会議室で開かれた。

委員は各小学校校区から二人

検証し、町長へ諮問する。

初合会は、個々の再編に対する意見を聞くフリートークで行われ、委員会のあり方、再編に対する率直な意見を出し合った。

学校再編は難しい問題だけに今後、紆余曲折が予想されるが、喜界町行財政改革大綱では「学校の再編は避けられない。思い切った改革が必要であり、諮問機関等を早急に設置し検討する」とあり、行財政改革対策室では大綱に沿い、作業を進めることになる。

現在、町内には九小学校と三中学校、九幼稚園があり(二園は休園)、平成十七年度予算には約三億円が計上されている。

小学校の児童数は平成十六年度の五百九十二人から、平成二十一年度には五百十七人前後に減少すると見られている。

喜界の食文化 黒糖焼酎を学ぶ

奄美ミュージアム 人材育成事業 研修会

奄美ミュージアム人材育成事業の第四回研修会(島の自然・文化インストラクター養成塾)が二月十九日、中央公民館であり、伊牟田正子さん(生活研究グループ・食改善推進委員)、喜禎光弘さん(朝日酒造社長)を講師に招いて十六人の塾生が喜界島の食文化、黒糖焼酎につ

いて学んだ。伊牟田さんはハンダマヤサクナなど島の食材を持ち寄っ

て年中行事と郷土料理について語り、「地産地消」「食、技の伝承」を訴えた。喜禎さんは黒糖焼酎の歴史や原料確保の課題、焼酎への想いを語り、「今焼酎ブームだが、幻しくない。安くておいしい焼酎を提供したい」と語った。



喜界高校 卒業生のメッセージ

【F3A】

あの時のあの場所のあの空気が
忘れもしない楽しい思い出

當 公德

二年後は自分の夢が叶ってる
今はそのためひたすら夢へ

勇 利文

建築士 最近思った夢だけど
夢で終わらず絶対なるよ

大山 勝正

立ち向かうその勇気を忘れず
に進んでいこう夢が叶うまで

相良 誠二

いつまでも育ててくれた島人に
感謝を忘れずわが道を行く

佐々木里志

歩きだす見えぬ未来に一歩ずつ
必要なのは少しの勇氣

澄岡 辰弥

お父とお母 今まで迷惑かけ
ました でも今からも迷惑か

園田裕一郎

春の地に光り輝く人々の中、
ひとときわ輝く我存在す

宝 利幸

青い空希望を胸にはばたいて
夢見る自分新たなスタート

土岐 和貴

いい感じ島での生活これから
は毎日僕は絶対好調

橋本 真悟

夢をもちまぶしいほどに輝く
姿 夢で終わらず島人王座

畑 慎一

いつの日か輝く未来に姿うつ
し大きな空に夢を叶える

福井 孝輔

夢追って常に前進プロ目指し
いつかはするぞ親孝行

福井 寿樹

走りだす自分の夢へと走りだ
す生きていく島で育った誇り

前泊 慶弥

将来帰ってきて家に帰れない
と困るのであんまり変わらない

南 勇人

今歩く自分の夢へ第一歩努力
を忘れず感謝を忘れず

基井 義隆



福島明日香

両親や島の友だちありがとう
感謝の気持ちずっと忘れない

寔 恵理

青い海たくさんさんの友だち忘
れない卒業してもズット友達

湯浅 美歩

【F3B】

今はただそこを見つめる自分
あり駆け出していこう輝く明

相美 剛

白球に思いを込めて・・・い
つかは立ちたい夢の舞台へ

相良 純平

夢を追うその気持ちを忘れず
に新天地で翔け自分

澄岡 翔平

小走りのおつちょこちよいだ
が働き者 母は家族の大黒柱

体岡 健人

島人の自信と誇りを胸にして
新天地への飛躍目指す

平 直樹

いつまでもどこに行っても輝
くは友の笑顔と確かな想い

田向 勝大

今はまだ島への思い消えぬけ
ど いざ旅立つ夢への挑戦

富田 将利

山口県何も知らない新生活
生きて帰るよ牧岡家

牧岡 大介

君を忘れない

桜咲き思い出と共に出る島に
思い残すは一握りの悔い

深水 望

私を励ます島の思い出

平松 芳乃

わが道に一歩踏み出す険には

登 菜友子

夢を持ち希望を持って出る島

が いつの時でも心の支え

いつまでも島の友だち大切に

西川 美幸

どんなときでもつながってい

るんだ

夢を持ち希望を持って出る島

登 菜友子

が いつの時でも心の支え

平松 芳乃

わが道に一歩踏み出す険には

私を励ます島の思い出

深水 望

桜咲き思い出と共に出る島に
思い残すは一握りの悔い

深水 望



島を忘れない

澄江 元美
笑顔咲く桜満開旅立つ日夢に
向かって希望をはなて

平 里美
島出て自分を持って頑張る
うね いつかみんなBack
3喜界 高田 悠

いつまでも仲良くしてね 支
えてくれたすべての人
がとつ 値 奈々穂

島唄の変わらぬ心伝えたい旅
立つ友の想いを込めて
東郷さやか

友を想い島を想い夢想いに
進むそれぞれの道
得本 華子

十年間の島での暮らしバネに
してチバツていこうどんな時
も 友岡 愛

通学路毎日見ました砂糖キビ
何年経つてもありますように
原田 瞳

瞳を閉じて島人のこと思い出
す感謝を胸に未来へ巣立つ
模 裕美子

お陰様この幸せはお陰様
一人一人が私の恩師
廣 綾乃

桜散る喜界の春の旅立つ日
あじいあんまあ長生きしてね
松岡まゆみ

風が吹き花びら舞い散る春の
日に歩み始める故郷を胸に
三田美梨沙

にぎやかな家を巣立つ時が来
た 父と母への真心胸に
幸 晴菜

夢にまた一歩近づくこの季節

大きく前進未来に向い

基井 綾乃

汗流し家族で働いた夏の日は
今振り返れば愛しい思い出

基江 美穂

夏の夜流れ星見て願ったね

みんなの夢が叶いますように

米盛 彩香

【商業科】

そよ風に思い出のせた三年間
自分の心よ涙一杯

岡 大輔

始めよう自分を信じ頑張つて
目標目指し夢を貫け

叶 峰樹

喜界島離れるのは辛けれど夢
に向かって頑張るぞ

叶 里樹

島を飛つ夢を必ず叶えると期
待と不安を胸に秘め

菊地 一

桜咲く僕の心に桜咲く
みんなの心に華咲かせます

邦 正宏

別れどき必ずみんなに訪れる
思い出だけは忘れたくない

倉橋 利哉

我が道は間違いだらけこの先
も だけど粘るぞ生きてる限
り

栄山 良樹

卒業 今までの思いを風
にのせて新しい未来へ旅立ちます

里 達範

甲子園生きたかった夢舞台
後輩たちには行ってほしい夢
舞台 繁山 和也

ありがとう口では言えぬこの
言葉この詞に書いた親への想
い 高須 龍一

商業科ほんとはよかつたコイ
ツらと怒られまくつた三年間
玉利 寿人

18年想いが詰まった喜界島
これからもよろしくお願
いします 東園 好輝

喜界島生まれ育つたこの島を
今離れゆく島の僕達
得 辰浩

僕たちは出会いと別れ繰り返
し 新たな道へ駆け抜けてい
く 中森 翔

切り開け夢に向かう第一歩
分の行く道夢で終わらず
西 瑞貴

新しいトピラを開く僕たちは
期待と不安胸に抱いて
濱川 真也

喜界島マルハナバチも飛んで
るよ夢に向かつて飛び立ちま
す 前島 清志

最高のこのメンバーとの思い
出は忘れられない自分の宝
向井 博志

三年間いろいろあったと思
い出す思い出ひたる我が涙かな
前岡亜由美



努力続けるその日のために
島を出て夢追う姿想像し今出
来ることただ実行するまで
南山 正樹

白球に夢を注いだ三年間支え
てくれた親に感謝
吉田 研吾

忘れない島への思い永遠に思
い出いつぱい詰まっただるさ
と 正親知恵美

いよいよだみんなと別れ島を
出るこれからはもうつとよろし
くね 加島 良美

四月から電車の乗り方覚えま
い 懐かしいなあチャリンコ
登校 拵 友子

まだちょっと不安と期待ドキ
ドキだそんな時にはみんなが
つかぶ 砂川はるか

夏の花 夜の星空 紫外線大
好き喜界島私の原点

TOWN まちの話題 News

昔ながらにヒグルーむらい

2時間踊りっぱなし、笑いっぱなし

佐手久集落



めてしまうことから、この名がついたという。

午後八時、佐手久集落公民館に集まった婦人会(弘岡稲子会長)の面々は、太鼓を叩きながら、最初の訪問先、米田信夫さん宅に向かう。

集落の家々を回り、八月踊りや六調で厄を払う行事「ヒグルーむらい」が旧暦一月十五日の二月二十三日、佐手久集落で行われた。北風も収まり、雲の合間から満月がのぞく当日、昔ながらの行事に大勢の踊り手が参加した。

「ヒグルー」は「冷たい」「むらい」は「頂く」の意味。

各家々ではごちそうを用意して踊り手一行をもてなすが、かつては一晚中家々を回るため、せつかくのごちそうも冷

一年半前にUターンした大井恵一さん宅でも「ヒグルーむらい」が行われ、母・チエさん(88)の退院を祝うとともに厄を払った。チエさんは「母屋を新築して以来、三十

七年ぶりのヒグルーむらい。ありがたい。息子も戻ってきて、うれしい」とイスに座りながら、アワユリや六調をうれしそうに見つめていた。

「数百年は続く」(嶺山さん談)というヒグルーむらい。「昔は集落の全ての家々を回ったんだよ」。顧さださん(86)は懐かしそうに語る。この日は新築の家を中心に五軒回った。近年では多いほうだという。

佐手久集落の女性はとにかく明るい。道中も太鼓を叩き、唄いながら練り歩いた。家内では息の合った八月踊りが休む間もなく続けられ、次第に速まるテンポで、不思議な高揚感に包まれる。締めは六調。独特のリズムで次々と手を巻く踊り手の、時には滑稽な踊りに笑い声が響き渡る。まさに「笑い」が「福」を呼び、「厄」を払う。踊りっぱなし、笑いっぱなしの二時間であった。

プロの指導に納得

「親子スポーツ教室」に335人

子どもたちに運動の楽しさを知ってもらおうと二月十九日、三人のプロ選手を招いて「親子スポーツ教室」が開かれた。三種目に三百三十五人が参加、体を動かすことの楽しさを体験した。

講師はバレーボールシドニ・オリソピック日本代表の佐伯美香選手、元プロ野球ダイエーホークスの柳田聖人選手、喜界町羽里出身で卓球世界選手権最年少代表の平亮大選手の三人が務め、町体育館でバレーボール、第一中学校で野球、滝川小学校で卓球が行われた。

野球はあ



子どもたちは運動の楽しさを知ってもらおうと二月十九日、三人のプロ選手を招いて「親子スポーツ教室」が開かれた。三種目に三百三十五人が参加、体を動かすことの楽しさを体験した。

第二回わらびフェスタが

二月二十七日、自然休養村管理センターであ

り、子どもたちが自主運営でイベントを

子どもたちの自主運営

第二回わらびフェスタ

多彩な演目に拍手を送った。発起人の橋川さゆか

切り盛り。バンド、日舞、島唄、エイサー、吹奏楽など十同級生らが応援に駆けつけ、会場には四種目を披露した。会場には

坂嶺ファイターズが優勝

小学生お別れバレー大会 ライオンズ旗争奪小学生バレーボールお別れ大会が二月二十日、町体育館で行われ、坂嶺ファイターズが二年ぶりの優勝を果たした。大会には十三チームが参加。試合後は、一年間練習をともししてきた仲間と体育館や前鼻公園周辺の清掃に汗を流した。



試合結果

決勝トーナメント 坂嶺ファイターズ2 1坂嶺ウイクトリーズ 準決勝 湾赤2 1上嘉鉄ミツキー、坂嶺フ

イターズ2 0湾青 決勝 坂嶺ファイターズ2 0湾赤



色彩豊かな力作ズラリ

第14回嶺美会

創作押し絵展



第十四回嶺美会創作押し絵展(吉嶺美智子主宰)が二月二十四日から四日間、中央公民館で開かれた。

今回の目玉は「田中一村」をモチーフにした押し絵。リュウキユウアカシヨウビンヤイジユの木、アダン、リュウキユウサンコウチョウ、

クロトン、ユリ、クワズイモなど奄美ならではの素材が色鮮やかに表現され、原色が目に飛び込んでくる。

制作に数カ月かけた力作もあり、多種多彩な押し絵は観客の目を楽しませていた。

池治海岸を

ポランティア清掃

クリーンアップ鹿事務局



ウイリー走行三百二十キロの世界記録を持ち、一昨年の夏クリーンアップ鹿児島事務局(中野吉則事務局)は二月二十日、池治集落民や九州電力関係の協力を得て、ポランティアで池治浜に打ち上げられた漂流物を取り除いた。

同事務局では毎年春と秋、池治海岸の清掃を実施。美しい海岸を守る活動とともに、漂着物の調査活動も行っている。近年、韓国や中国、東南アジアからの漂流物が多く、新たな問題となっている。収

トライアルバイク 一行19人来島



さん(高二)は「初めての事だとまどいもあったが、いろんな方々のアドバイスでやり

遂げられた。来年も企画し、より充実したものにしたい」と感謝を述べた。

祭りにトライアルバイクの妙技を披露した工藤靖之さんからトライアルバイク愛好者一行が二月十二日、島を訪れた。大阪、福岡などから十九人が来島。半数は五十歳代で、女性ライダーも五人参加、奄美大島からも数人が合流した。一行は島でバイクショップを営む桜井元吉さんの案内で、島内を観光しながら海岸沿いにコースを設定し、技術を競った。難しいコースをクリアするたびに大きな拍手が上がっていた。

4月7日は「世界保健デー」

1946年4月7日、「すべての人々が可能な最高の健康水準に到達すること」を目的として、世界保健機関(WHO)が設立されました。これを記念して、毎年4月7日を「世界保健デー」と決めました。

集された漂流物は種類ごとに分別して全国事務局に報告、海洋汚染防止のため役立てられる。

お知らせ

けん銃・麻薬の密輸防止にご協力を

港でこんなことに出会ったら税関にお知らせください。
密輸ダイヤル
☎0120(461)961

- 何か貨物の入っているような漂流物、漂着物を発見したとき
- 外国の船とひんぱんに無線で交信をとったり、沖合いに向かつて信号を送っている船を発見したとき
- 異常にあたりを警戒し、おかしい行動をしている船や外国の船と物の受け渡しをしている船を見かけたとき
- 漁具を積まずに出港したり、しけの日や夜間に入ったりするなど、おかしい行動をとる船を見かけたとき

- 目的がハッキリしない改造を行った小型船を発見したとき(高出力エンジン・大型燃料タンク搭載等)
- 「ヤク」「エス」「スピード」「チャカ」「ブツ」など、不正薬物やけん銃に関係のある話を聞いたとき

来港目的がハッキリせず、しきりに携帯電話等で連絡をとっている、普段見かけない人がいたとき
問い合わせ先
税関名瀬監視署
☎0997(53)3271

4月から浄化槽の保守点検が変わります!

近年、浄化槽は機能が向上し、維持管理が容易になってきているため、浄化槽法に基づき保守点検回数について県浄化槽事務取扱要領が改正され、4月1日(金)から施行されます。

浄化槽の保守点検は、浄化槽法により、家庭用の小型合併処理浄化槽(20人槽以下)の場合、基本的に4カ月に1回以上行うことになっていきます。また、駆動装置などの作動状況の点検および消毒剤の補給については、必要に応じて行うものと規定されています。

県要領では、これらの点検を合わせて、おおむね年12回程度を目安としています。
保守点検の回数は、浄化槽の種類や使用状況などにより異なりますので、保守点検業

者にご相談ください。

問い合わせ先

県庁環境整備課

☎099(286)2594

名瀬保健所

☎0997(52)5411

中小企業のみなさん! 会社の福利厚生を任せてみませんか?

中小企業勤労者福祉サービスセンターは、市町村などからの補助金や会員(サービスセンター)と同一地域内に勤務または居住する中小企業の勤労者およびその地域内に所在する中小企業の事業主)からの会費により、会員の福利厚生事業を行う団体で、現在県内では鹿児島市と奄美地域の2カ所に設立されています。

一企業では実施できないさまざまな福利厚生サービスが受けられるため、多くの事業所が会員になっています。ぜひ、ご加入ください。
(財)鹿児島市中小企業勤労者福祉サービスセンター
☎099(285)0003
<http://www.yoka-center.jp/>
(財)奄美広域中小企業勤労者福祉サービスセンター
☎0997(53)3366
<http://www5.synapse.ne.jp/as>

県庁労働政策課

☎099(286)3017

振替納税の期日

振替納税を利用されている方の、平成16年分の所得税等の口座引き落とし日は「所得税平成17年4月19日(火)」「消費税および地方消費税平成17年4月26日(火)」となっておりますので、預貯金口座の残高を確認いただき、振替不能とならないようにお願いします。引き落としができなかった場合には、延滞税がかかる場合がありますので、ご注意ください。

「振替納税」は、納税のため、わざわざ出かけてくなくて済む(便利) 現金を扱わないので紛失の危険性がない(安全) 納付を忘れることがない(確実) というメリットがあります。是非ご利用ください。

手続きは、税務署および各市町村役場に備え付けてある「振替依頼書(はがき)」を税務署に提出(記入してポスト投函)するだけです。
大島税務署
☎0997(52)4321

妊婦の船舶旅費助成

名称 喜界町妊婦健康診断旅費助成金

助成額 喜界町から名瀬市までの片道船舶旅費2等(和室)運賃 3300円

助成回数 1回の妊婦期間中6回を限度とする

施行日 平成17年4月1日より

申請方法 申請書に母子手帳受診記録の写しを添付

申請期間 妊婦健診日以後の1カ月以内

問い合わせ先 喜界町役場保健福祉課
☎0997(65)1111

役場庁舎移転後の跡地利用者の募集

町では平成18年度の新庁舎移転後の現在地の跡地利用希望者を下記のとおり公募いたしますので、利用希望者はお問い合わせ下さい。

所在地 喜界町湾61番地
物件の種類 土地
登記地目 宅地
面積 3,562.55㎡

申し込み方法

申し込みを希望される方は、所定の「申込書」を用意



今月の花

ムラサキカタバミ

庭や畑地、道端などに生える南アメリカ原産の帰化植物。江戸時代に持ち込まれ、当時は観賞用として珍重された。種子はできないが、地下に球形の鱗茎があり、そのまわりに多数の小さな鱗茎をつくって繁殖する。また、土木工事や畑作業などで鱗茎が攪拌され、あちこちから発芽して増える。花茎は葉より高くぬき出て、先端に淡紅紫色の花を咲かせる。

していますので、お問い合わせ
してください。

申し込み資格

平成17年1月1日現在喜界
町内に住所を有する個人、法
人（法人の場合は町内に主た
る事務所または事業所を有す
ること）

申し込み期限

平成17年4月20日（水）

その他

賃貸借または売却としま

お問い合わせ

喜界町役場財産管理課

☎0997(65)1111

(内線70)

【お詫びと訂正】

先月号の「まちの話題」の
記事で、「奄美民謡大賞の皆
吉恵理子さん」と紹介しまし
たが、大賞を受賞したのは
「母・皆吉佐代子さん」の誤
りでした。

関係者の皆様に取材不足を
お詫びして、訂正いたします。

国民年金だより

学生の皆さん「学生納付特例制度」をご存じですか？

20歳になったら、学生であっても国民年金に加入し、保険料を納める義務が生じることをご存じですか。しかし、学生本人には所得がない場合がほとんどです。そこで、学生本人の所得が一定額以下であれば、親の所得に関係なく保険料の納付が猶予される学生納付特例制度があります。この制度を利用しておけば、学生の期間の「万が一」（病気やケガによる障害など）にも備えができ、安心です。

申請は、住所地の市町村役場の国民年金担当窓口で行います。申請には、在学証明書または学生証の写しが必要になります。なお、この申請は、年度ごとに提出していただく必要があり、前年度申請した人で、また今年度も学生の方は忘れないで申請してください。

平成17年4月から「特別障害給付金制度」が始まります。

「特別障害給付金制度」は、国民年金制度の発展過程において、特別な事情により障害基礎年金等を受給していない障害者の方を救済する福祉的措置です。

対象者

20歳以上の学生は、現在国民年金の加入が義務づけられていますが、平成3年3月以前は、国民年金に加入するかどうか任意でした。その任意加入期間の時期に、国民年金に加入せず、障害を負った人

厚生年金・共済年金等の加入者に扶養されている配偶者は、現在は届出をして第3号被保険者となりますが、昭和61年3月以前は、希望者だけが任意に国民年金に加入し、保険料を支払う仕組みでした。その時期に、国民年金に加入せず、障害を負った人

これらの方のうち、現在、障害基礎年金の1・2級相当の障害に該当する方。

- 支給額**
- ・ 1級：月額5万円（2級の1.25倍）
 - ・ 2級：月額4万円

所得によって支給制限となる場合があります。
老齢年金等を受給されている場合は、支給制限があります。

- 支払い方法**
- ・ 年6回（2月、4月、6月、8月、10月、12月）
 - 初回支払など、特別な場合は、奇数月に支払が行われることがあります。

- 請求の窓口**
- ・ 住所地の市町村役場の国民年金担当窓口
 - 障害認定等の審査・支給事務は、社会保険事務局で行います。

事務の開始日 ・平成17年4月1日からです。

- 注意事項**
- ・ 給付金の支給は、請求のあった月の翌月分から支給いたします。4月に申請すれば5月分から受給できますが、申請が遅れるとその分損をすることになります。対象者は、17年4月中に請求してください。

鹿児島社会保健事務局奄美大島事務所 ☎0997(52)4341

教育委員会のとびら

子どもの体力について考える



び、後者を「防衛体力」と呼びます。

子どもたちに「体力を付ける」という場合、常にこの両者を考えなければなりません。スポーツ少年団等で積極的に行動体力を身に付けている子どもたちも、案外防衛体力に関しては意識が低いかもしれません。一流のスポーツ選手が、食事や歯の噛み合わせ等を重視するのは、この二つの体力の大切さを認識しているからです。

先月は、「学力」について述べさせていただきました。今月は、教育において「学力」と両輪をなすといわれている「体力」について、ふれたいと思います。

一 二つの体力

体力というと、力強さや速さ等をイメージされると思いますが、病気になる、気持ちよく過ごすといった健康的な力も体力の要素の一つです。前者を「行動体力」と呼

りがあるようです。また、虫歯の治療率の悪さや視力低下も気になるところです。テレビゲームによる外遊びの減少や生活習慣の乱れが原因のようです。

三 体力の重要性

このように体力が低下してきたもう一つの原因として、体力に対する認識の低さがあります。

医療や交通手段、電化製品が発展して、私たちは健康のありがたさや体力の重要性を感じる事が少なくなりまして。

しかし、東京大学の小林教授は、体力と私たちの生活について、次のような指摘をしています。

その人の一生の体力は、若いときの体力がどれだけ高いかで決まってしまう。若いときに高い体力を身に付けておくと、年をとってからの生活を豊かに過ごせる。

最近の医学の進歩によって、運動と脳の発達の関係が明らかになりつつある。適度の運動が脳を刺激し、記憶力や思考力などの向上に大きく寄与している。

今の大人が元気に仕事に励むことができるのは、子ども頃の外遊びや手伝い、部活動等によって自然に体力を身に付けていたからです。今の子どもたちが、年をとっても今の大人と同じように生活を送ることができるのか、心配なところですよ。

四 体力向上を目指して

このような現状の中、国も「子どもの体力向上」の様々な取り組みをしています。文部科学省のホームページでもご覧いただけますので、ぜひご参照ください。

喜界町教育委員会も、文部科学省から「子どもの体力向上実践事業」の委嘱を受け、

具体的な研究と実践を進めています。各学校では写真のように、体育の授業において体力づくりをしています。バランス感覚や柔軟性、俊敏性などを高める運動を、毎回五分間ずつ継続しています。

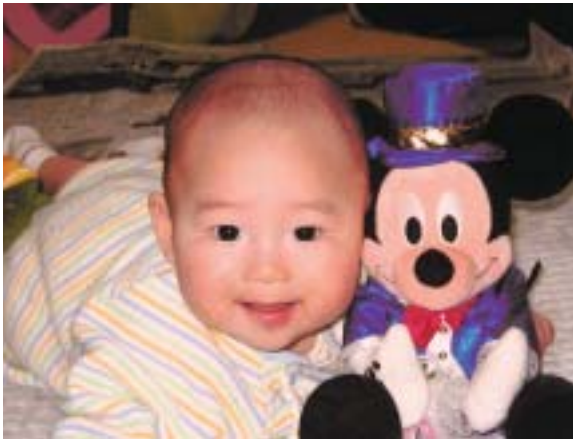
また、喜界島の豊かな自然を生かして、親子で体力つくりをしてもらおうと、小学生をお持ちの家庭に左上のような「ファミリーカード」を配布しました。校区ごとの体力づくりコースを紹介してあり、家族で週一回コースを利用するよう呼びかけています。

各家庭におかれましては、今一度体力の重要性を認識していただき、次のような実践をしていただきたいと思います。

- 小さいときから食事や睡眠など、生活習慣をしっかりと整える。
- 適度な運動と家庭学習の継続を、家庭生活にきちんと位置付ける。
- 週に一度は親子で汗を流し、運動のよさを体で感じさせる。



わが家のアイドル



ながとも ゆうき
長友 勇樹くん (7カ月)
父 = 志郎 母 = 美恵子 湾

家の中をボタンボタン音を立てながら、這いずり回る勇樹くん。ちっともじっとしていないので、親の方がくたくたです。最近、生えてきた歯で、人の指やひざを噛んでニヤツと笑うあなたは、とてもキュート。大きくなったら、心が広く男らしい人になって下さいね。愛嬌いっぱい振りまいていつまでも、周りの空気を和やかにしてね！

喜界歌壇

去年出来て今年が出来ぬ事ばかり一冬毎に古い坂険し
向井 トキ
にこやかに声かけ給う師の君のひとみにうつる吾を正せり
北島 シナ
大寒の朝着膨れて路地行けば鳥の声ありやがて春来る
有村 道子
庭に咲く水仙の香りしずめいし今日一日はひとときわ寒し
平尾 チヨ
大寒の朝一面に霜降りてことばも心も凍てつきしまま
屋良ミノ子
万物の節強くするとう寒さなら受けとめ越さむ我が老いたれど
美代 イシ

寒桜つぼみに紅の見え初めて
季を咲く花のぬくもりを待つ
竹田ヨシ子

大寒のきびしき今朝も庭隅のボケの花のみ紅に咲く
郡 市子

寒続き夜毎に目覚めりウマチの痛みに呻く薬効もなく
弥島 幸子

葉を落とし虚心となりし百日紅木肌さらして寒空に立つ
林 蓮香

あたたかき島といえども寒に入り灯暗き厨に七草を選る
嶺倉 祝子

あかあかと将来の夢語る友若き手のひらストープにかざし
武田 幸子

戸籍の窓

2月届出

こんにちは
赤ちゃん

氏名 保護者 住所
梅原 直 賢司 志戸桶
嶽本 直志 洋一 志戸桶
岩井 桃花 大樹 湾

いつまでも
お幸せに

東園 真琴 志戸桶
基岡 美香 小野津

田口 彰平 湾
卓間 寿子 羽里

濱川 秀司 志戸桶
柳 千草 荒木

ごめい福を
お祈りします

荒木 吉見 政子 76才

赤連 朝野 クミ 89才

早町 中山 千代 83才

早町 磯川 健三 66才

湾 佐藤 哲真 79才

伊砂 肥後 静雄 83才

赤連 朝香 オキ 93才

上嘉鉄 原 忍 77才

浦原 永山 チク 85才

荒木 西 ナヲ 104才

浦原 里 ウシ 91才

上嘉鉄 生田 マツ 73才

川嶺 高橋 直輝 93才

赤連 清水府美男 53才

阿伝 保科 三藏 91才
赤連 折田 實雄 92才

社協だより

香典返し

浦原 中田由紀夫

上嘉鉄 沖 保典

阿伝 中島 帳子

赤連 栄 サヨ

小野津 浜田 早苗

伊砂 肥後 一子

志戸桶 勇 和

湾 久一三夫

大朝戸 興 信雄

上嘉鉄 原 一美

湾 佐藤美重子

早町 中山 律子

……喜界町の推計人口……

(平成17年2月28日現在)
世帯数..... 3,809戸 (+ 4)
人口..... 8,636人 (- 8)
男..... 3,997人 (+ 3)
女..... 4,639人 (- 11)
()は前月比



302人
島を駆けぬける



第21回俊寛シヨギング大会

第二十一回俊寛シヨギング大会が三月六日、俊寛座像を発着点に行われた。あいにくの雨と強風の中、三百二人が参加。参加者はそれぞれのペースで春間近の喜界路を駆け抜けた。大会には喜界二世の岡本治子さん（ノース・2002年大阪国際マラソン第3位・2時間27分1秒）も参加、大会を盛り上げた。

【俊寛シヨギング結果】

2歳の部（160人）

男子

- 正木勇太（小5） 7分50秒
- 真井大樹（小6） 8分15秒

女子

- 前底勇輝（小4） 8分30秒

男子

- 園田樹子（小5） 9分3秒
- 森 秀美（小6） 9分20秒
- 梶原麻衣（小4） 9分27秒

女子

- 安岡泰平（中2） 19分24秒
- 富田和範（中2） 19分43秒
- 恵 翔太（中2） 19分53秒
- 美代奈津実（小6） 26分22秒
- 栄 玲奈（中1） 27分4秒
- 春日沙耶奈（中1） 27分9秒

10歳の部（63人）

- 前島隆太（高2） 38分33秒
- 向井亮太（中3） 39分48秒
- 生田恭平（中2） 42分2秒

